

保護者の方と一緒に確認しましょう！

ほけんだより

令和 6 年 5 月 21 日

No.③

落合第二中学校

保健室 発行

「定期健康診断の結果のお知らせ」をもらった皆さん、医療機関への受診は済みましたか？

今までも放っていたし大丈夫でしょ！

日常生活に支障ないし、問題ないよ！



と、まだ受診していない皆さん、

学校における健康診断はスクリーニング（選別）であり、最終判断ではありません。

スクリーニングの目的は、対象者に早期段階での治療をできるようにすることです。

お知らせを受け取った場合は、なるべく早く医療機関で診てもらいましょう。

※ 受診をしても「異常なし」と診断されることがあります。疾病や異常の“疑い”の場合にも、受診のお知らせを配付しているためです。ご理解とご協力をお願いいたします。



「不同視」って知っていますか???

「不同視」とは、左右の目の見え方・視力（度数）の差が大きい状態のことをいいます。

今回の視力検査で、この「不同視」の疑いがある生徒が非常に多いことが分かりました。

「不同視」の原因は??

片目だけを使う生活習慣が原因とされています。「姿勢が悪い」「寝転がって本を読んだりゲームをしたりする」「テレビを斜めから見る」など、気づかぬうちに片目だけを多く使う生活をする、左右の視力のバランスが崩れてきてしまいます。



「不同視」により引き起こされる症状は??

左右の目で視力に違いが出ることで、目の疲れや頭痛、肩こりなどの眼精疲労に関わる様々な症状が現れます。また、見える側の目を無意識に頼ってしまうことで、もう片方の目が育たなくなり、弱視※になってしまうケースがあります。

「不同視」を予防法や治療法は??

左右の目の使い方のアンバランスが大きな原因のひとつになります。テレビの見方や設置位置、タブレットなどの見方が悪くなっていないか、今一度見直しましょう。

不同視は、一般的にはメガネやコンタクトレンズでの視力矯正が行われます。

左右で視力に差がある場合は、まず眼科医に相談しましょう。

※ 弱視とは…

眼鏡を装着してもよく見えない状態

黒板の字は見えているから…と、受診を見送られがちですが、上記の「不同視」のように治療が必要な場合があります。

「視力検査結果のお知らせ」（黄色い用紙：4/17に配布済）を受け取った皆さんは、ぜひ一度、受診してみてください!!